



LIXIL シリンダーPA錠、PB錠



取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

-  **ポイント**
 - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
 - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
 - 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
 - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

警告

- ※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記の事項をお守りください。
- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道(道路面)に飛び出さないようにしてください。

注意

- ※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記の事項をお守りください。
- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガの原因となります。

ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

注意

- ※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記の事項をお守りください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

ポイント

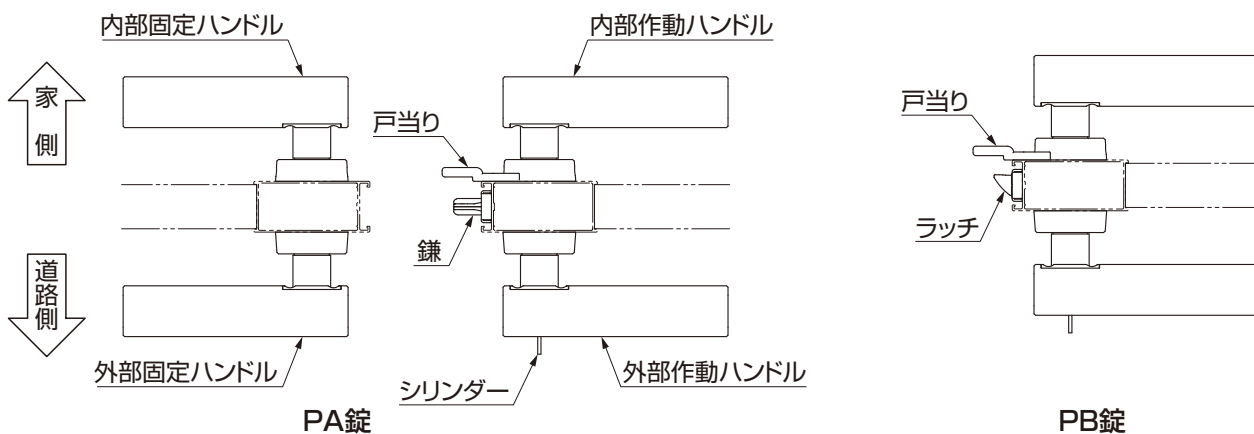
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全带、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。

■梱包明細表

【1】錠セット

名 称	略 図	員 数			
		PA錠		PB錠	
		両錠	片錠	両錠	片錠
ハンドル(作動側)		1	1	1	1
ハンドル(固定側)		1	—	1	—
PA錠(機構部)		1	1	—	—
PA錠(両錠受け)		1	—	—	—
PA錠(片錠受け)		—	1	—	—
PB錠(機構部)		—	—	1	1
PB錠(両錠受け)		—	—	1	—
PB錠(片錠受け)		—	—	—	1
サムターン		1	1	1	1
シリンダーキー		3	3	3	3
【1-1】φ4×12サラタツピンネジ3種		4	3	4	3
【1-2】φ3×25ナベタツピンネジ1種		1	1	1	1
【1-3】φ4×25サラドリルネジ		—	1	—	1
取付説明書<A589>	—	1	1	1	1
取扱説明書<UA214>	—	1	1	1	1

1. 各部の名称 ※図は右勝手内開きを示します。



2. 勝手の変更 ※本セットは右勝手内開き用になっています。扉の勝手が右勝手内開き以外の場合は、下記の方法にしたがって錠の勝手を変更してください。

2-1 勝手変更

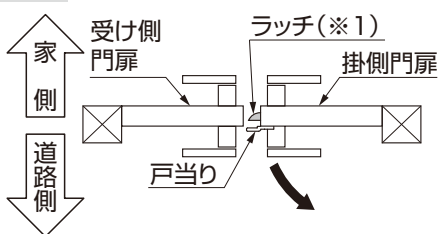


図2-1 右勝手外開き

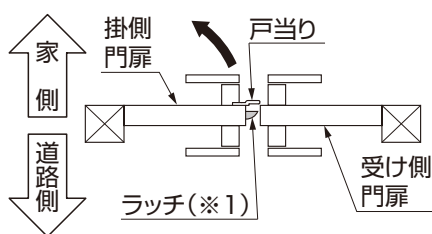


図2-2 左勝手内開き

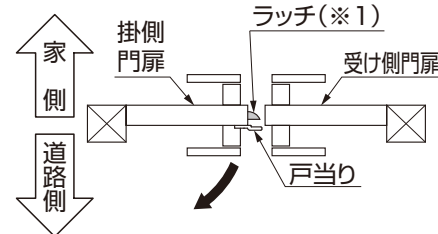
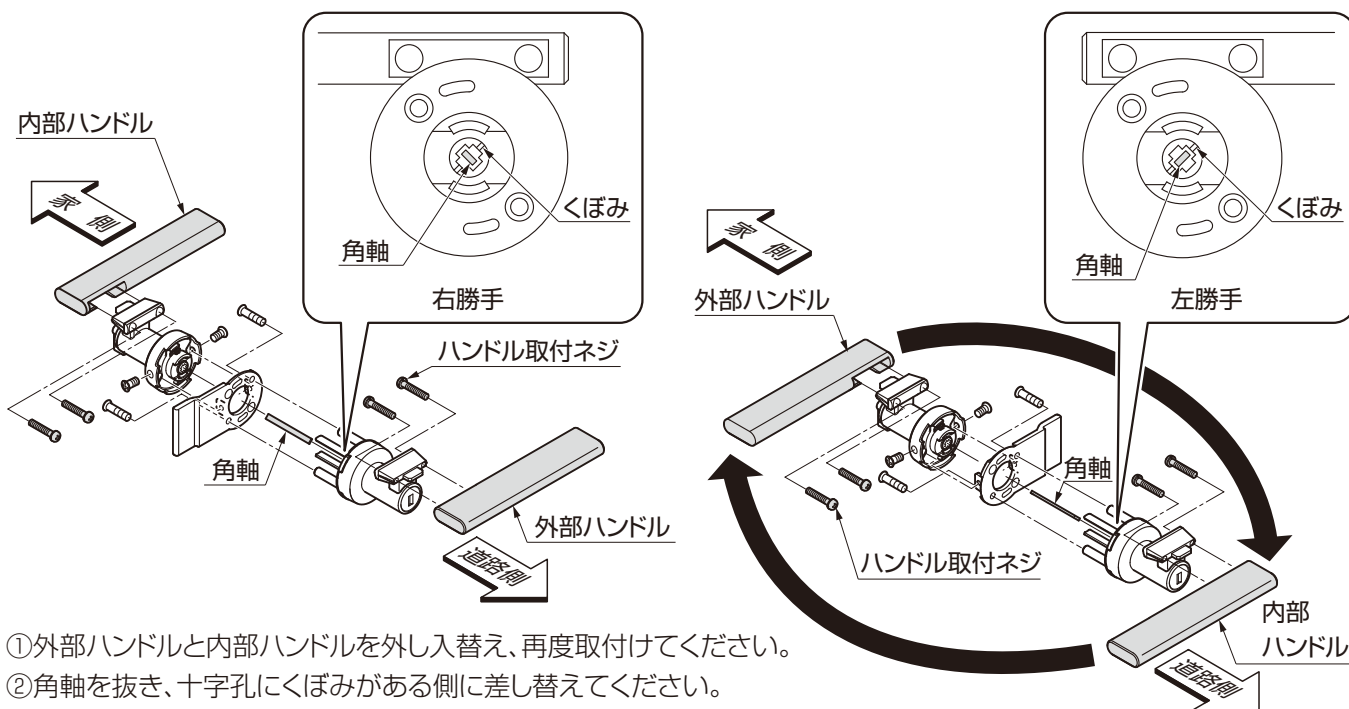


図2-3 左勝手外開き

ポイント

- ラッチは、PA錠にはありません。(※1)
- 勝手変更は、「2-2 ハンドル・角軸の組替え」「2-3 戸当りの組換え」「2-4 ラッチの組換え」「2-5 キズ防止プレートの組換え」にしたがって変更してください。

2-2 ハンドル・角軸の組替え ※図は作動側を左勝手にする場合を示します。固定側も同様の手順で組替えてください。



- ①外部ハンドルと内部ハンドルを外し入替え、再度取付けてください。
- ②角軸を抜き、十字孔にくぼみがある側に差し替えてください。

ポイント

- 組付け推奨トルク：2.0N・m±0.5N・m(20±5kgf・cm)

2. 勝手の変更 つづき

ポイント

- 勝手交換時に組替えを行うハンドルについてハンドル取付ネジの取外しは必ず外部、内部化粧座を取外して行ってください。取付けネジの十字孔が破損するおそれがあります。(図2-4参照)

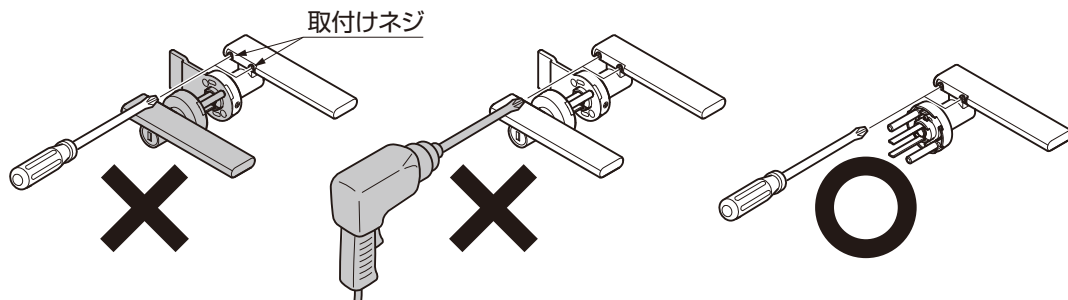


図2-4

- 勝手交換時に組換えを行う角軸について、角軸を差込む場合は必ず手で差込んでください。ハンマー、ペンチなどの工具でたたき込まないでください。シリンダー部が破損して抜けてしまうおそれがあります。(図2-5参照)
- シリンダーにキーを差し込み、半回転キー操作をして角軸の向きを変えないで下さい。そのまま施工を行うと、施解錠操作をしてもキーが抜けなくなったり、ハンドルが動かなくなります。(図2-6参照)

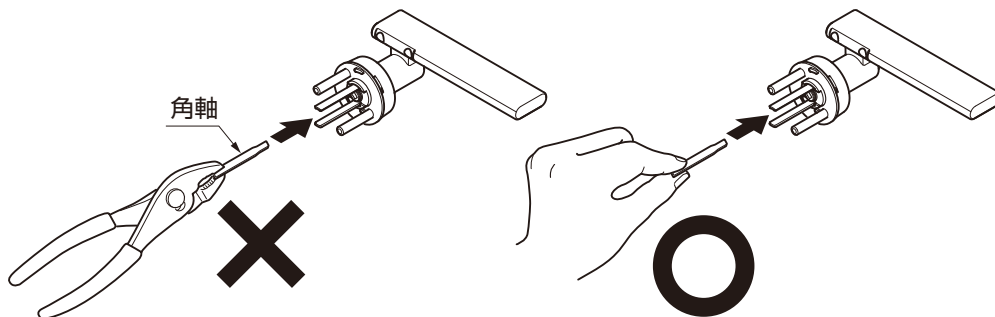


図2-5

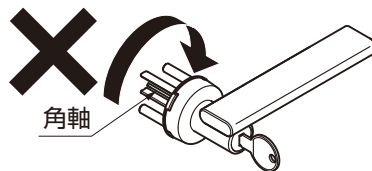


図2-6

2-3 戸当りの組替え ※戸当りの組替えは、作動側のみの作業になります。

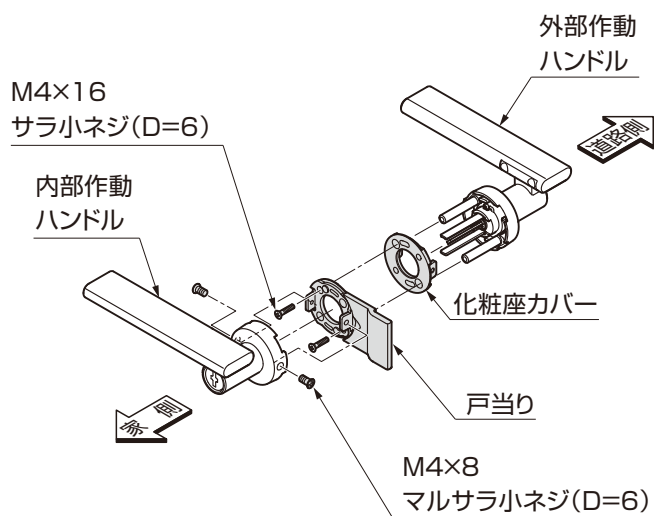


図2-7 右勝手内開き(出荷状態)

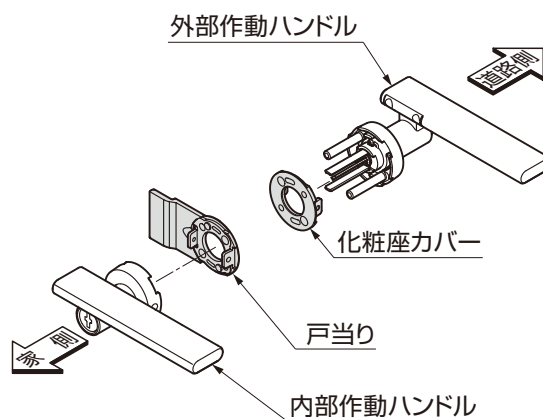


図2-9 左勝手内開き

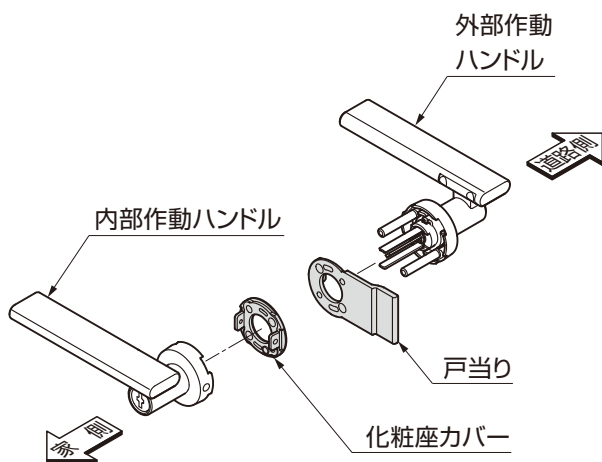


図2-8 右勝手外開き

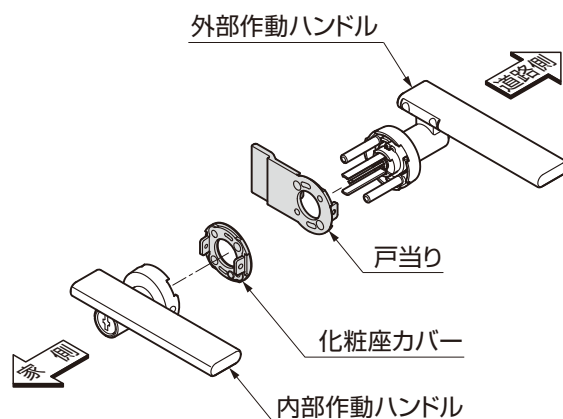


図2-10 左勝手外開き

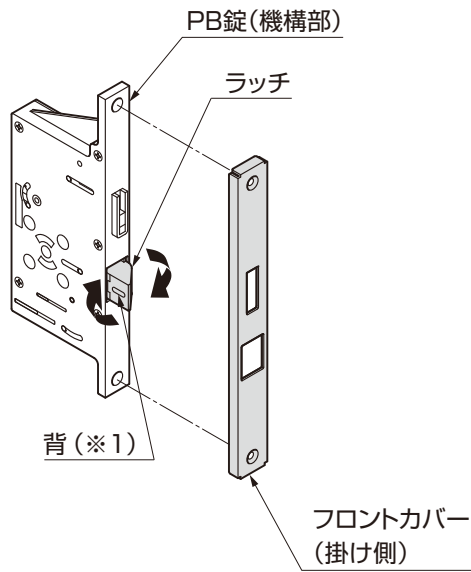
- ①内部作動ハンドルの取付けネジをゆるめて取外します。
- ②各扉の勝手を図2-8、2-9、2-10にしたがって戸当りを組替えてください。

ポイント

- ハンドルの組替えは、「2-2 ハンドル・角軸の組替え」にしたがって変更してください。

2. 勝手の変更 つづき

2-4 ラッチの組替え(PB錠のみ)



- ①フロントカバーを外しラッチを回転させて向きを変更してください。
- ②再度フロントカバーを取付けてください。

ポイント

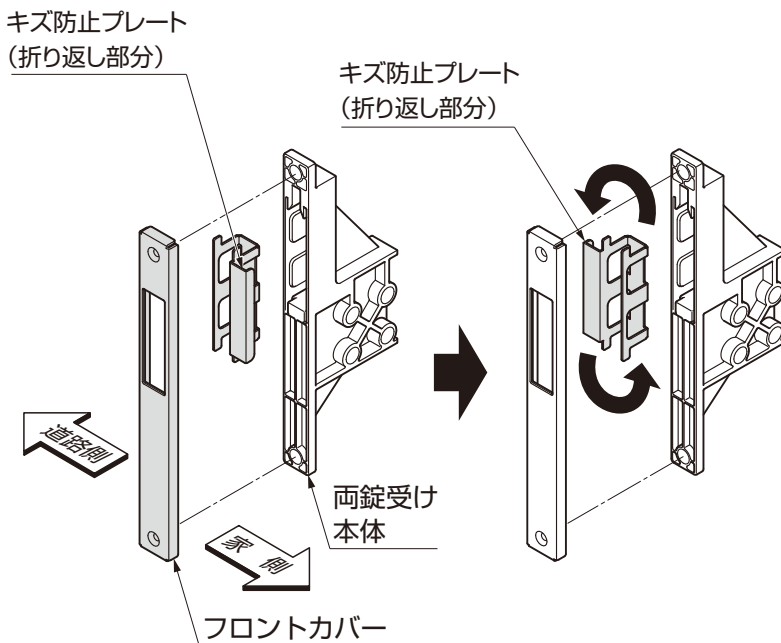
- 外開きの場合は、ラッチの背(※1)を道路側に向けてください。

2-5 キズ防止プレートの組替え

※梱包時、「右勝手内開き」です。勝手変更するときのみ行ってください。

※図はPA錠を示します。PB錠も同様に交換してください。

※図は右勝手内開きから右勝手外開きへ変更する場合です。



- ①固定側のフロントカバーをいったん外し、キズ防止プレートを左右反転して再び組付けてください。

ポイント

- 両片錠受けは、取付け向きがあります。キズ防止プレートの折り返しが鎌、もしくはラッチが開閉の際に当たる向きになるように取付けてください。

3. PA錠の取付け

3-1 錠の取付け ※図は右勝手の場合を示します。

(1) 両開き

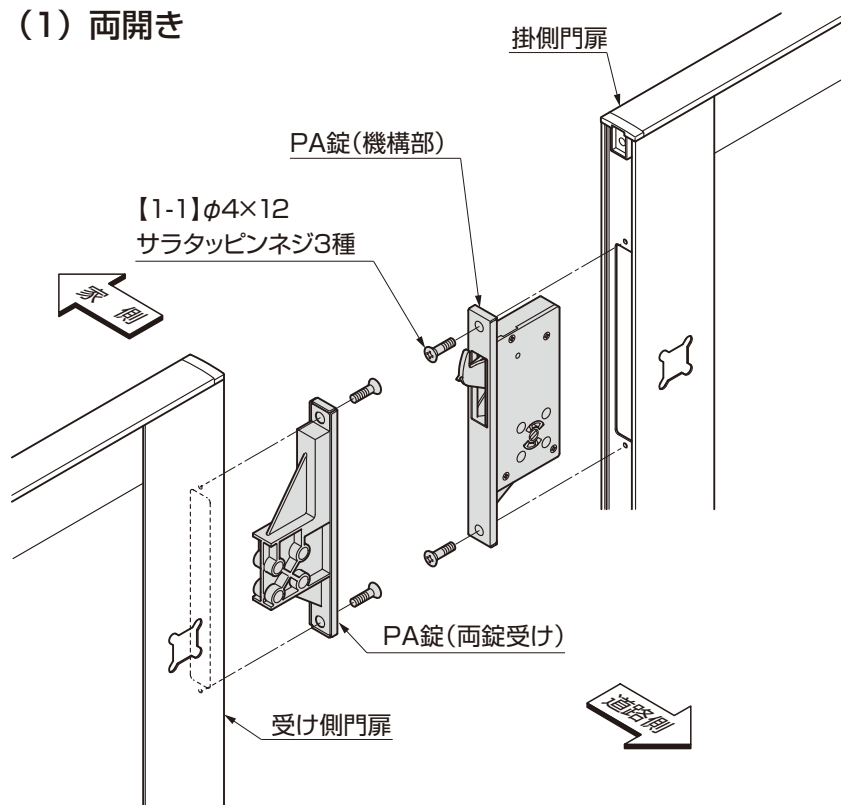


図3-1

ポイント

- 図は右勝手内開きです。扉の勝手が右勝手内開き以外の場合は、「2.勝手の変更」にしたがって錠の勝手を変更してください。

- ①図3-1にしたがってPA錠(機構部)、PA錠(両錠受け)を【1-1】で取付けてください。

ポイント

- 組付け推奨トルク： $2.0\text{N}\cdot\text{m}\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($20\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)
- 親子扉の際、受け側門扉にはPA錠(片錠受け)を取付けます。取付方法はPA錠(両錠受け)と同様です。

(2) 片開き

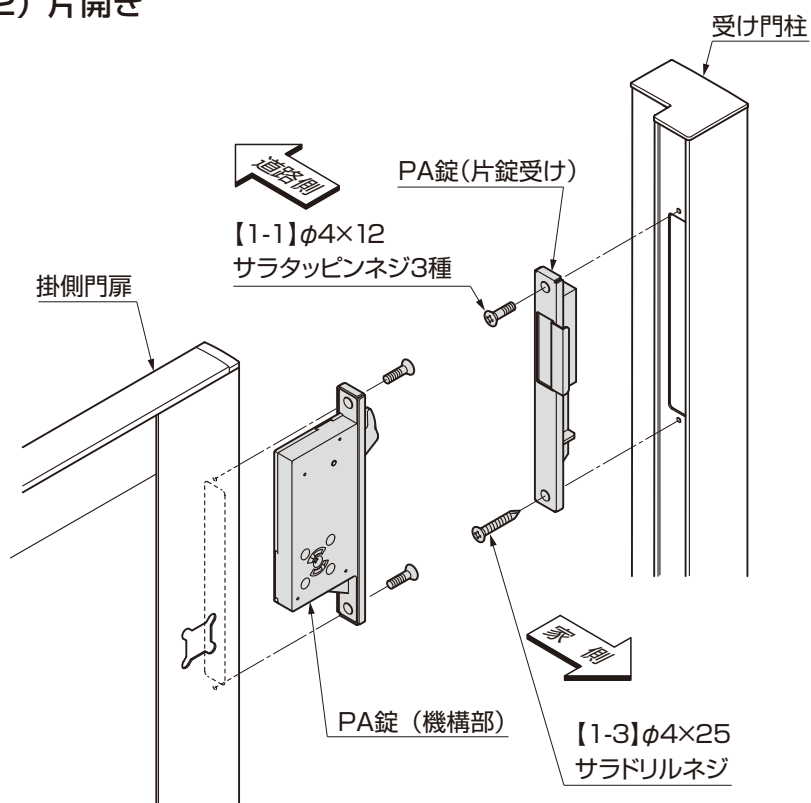


図3-2

ポイント

- 図は右勝手内開きです。扉の勝手が右勝手内開き以外の場合は、「2.勝手の変更」にしたがって錠の勝手を変更してください。
- 取付ネジの頭が片錠受けより出っ張らないように取付けてください。

- ①図3-2にしたがってPA錠(機構部)と、PA錠(片錠受け)の上側を【1-1】で取付けてください。次にPA錠(片錠受け)の下側を【1-3】で取付けてください。

ポイント

- 組付け推奨トルク： $2.0\text{N}\cdot\text{m}\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($20\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)

3. PA錠の取付け つづき

3-2 ハンドルの取付け ※図は右勝手の場合を示します。

(1) 両開き

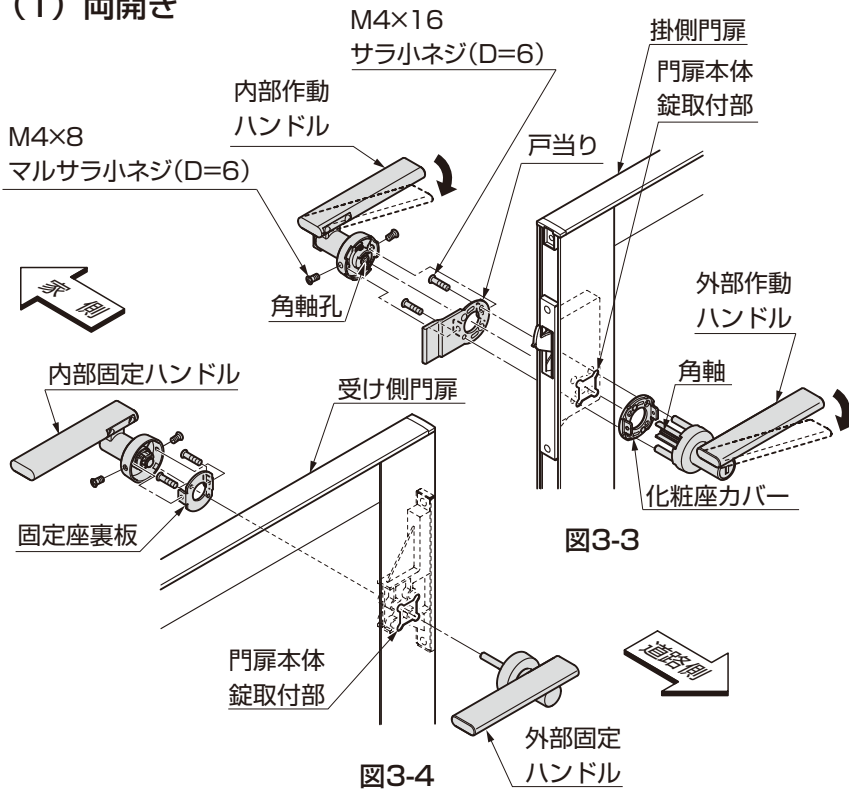


図3-3

ポイント

● 図は右勝手内開きです。扉の勝手が右勝手内開き以外の場合は、「2.勝手の変更」にしたがって錠の勝手を変更してください。

①化粧座カバーを取付け、外部作動ハンドルを平行に取付けてください。(図3-3参照)

ポイント

● 角軸を、角軸孔に確実に差込んで固定してください。

注意

● シリンダーキーを差し込んだまま取付けを行わないでください。シリンダーキーが抜けなくなります。

- ②戸当りを取付け、内部作動ハンドルを平行に取付けてください。(図3-3参照)
 ③ハンドルを傾けて、鍵が引っ込む動作を確認します。(図3-3参照)
 ④図3-4にしたがって、受け側門扉に固定ハンドルを取付けてください。

ポイント

● 組付け推奨トルク： $2.0\text{N}\cdot\text{m}\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($20\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)

(2) 片開き

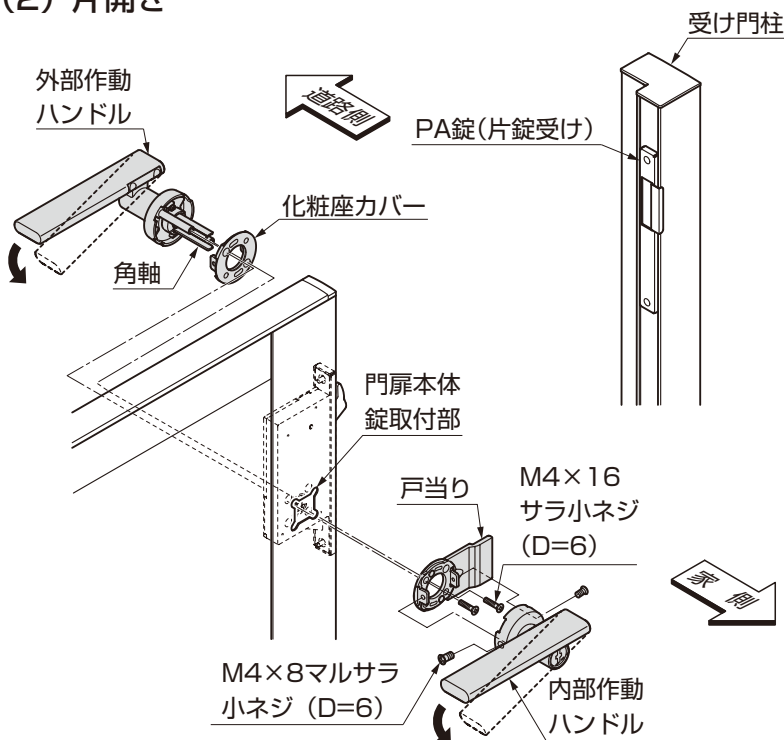


図3-5

ポイント

● 図は右勝手内開きです。扉の勝手が右勝手内開き以外の場合は、「2.勝手の変更」にしたがって錠の勝手を変更してください。

①化粧座カバーを取付け、外部作動ハンドルを平行に取付けてください。(図3-5参照)

ポイント

● 角軸を、角軸孔に確実に差込んで固定してください。

注意

● シリンダーキーを差し込んだまま取付けを行わないでください。シリンダーキーが抜けなくなります。

- ②戸当りを取付け、内部作動ハンドルを平行に取付けてください。(図3-5参照)
 ③ハンドルを傾けて、鍵が引っ込む動作を確認します。(図3-5参照)

ポイント

● 組付け推奨トルク： $2.0\text{N}\cdot\text{m}\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($20\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)

4. PB錠の取付け

4-1 錠の取付け ※図は右勝手の場合を示します。

(1) 両開き

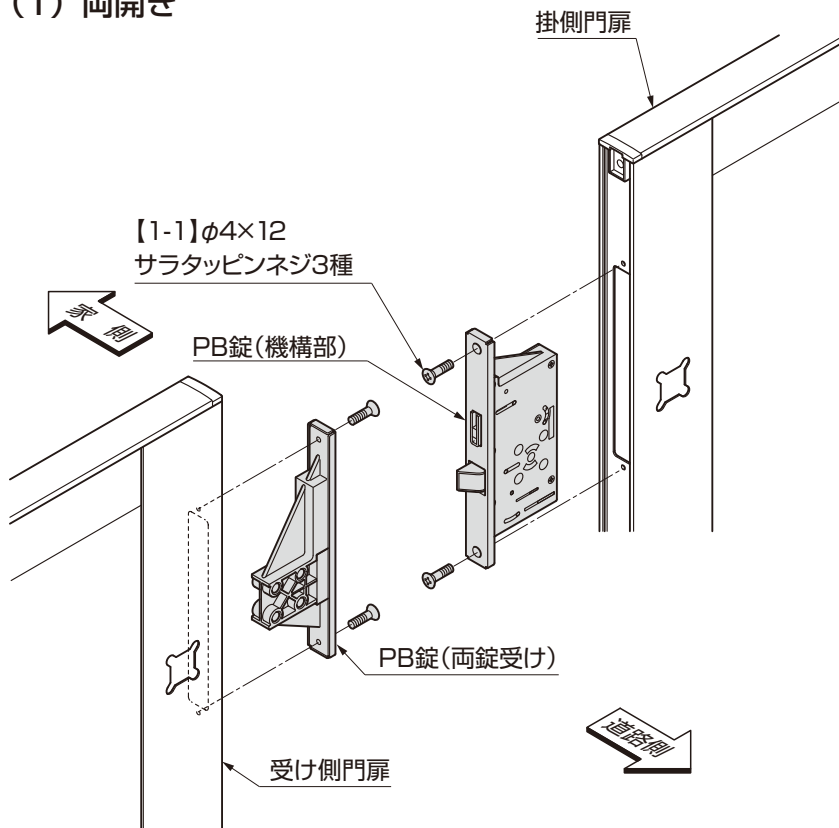


図4-1

ポイント

- 図は右勝手内開きです。扉の勝手が右勝手内開き以外の場合は、「2.勝手の変更」にしたがって錠の勝手を変更してください。

- ① 図4-1にしたがってPB錠(機構部)、PB錠(両錠受け)を【1-1】で取付けてください。

ポイント

- 組付け推奨トルク： $2.0\text{N}\cdot\text{m}\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($20\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)
- 親子扉の際、受け側門扉にはPB錠(片錠受け)を取付けます。取付方法はPB錠(両錠受け)と同様です。

(2) 片開き

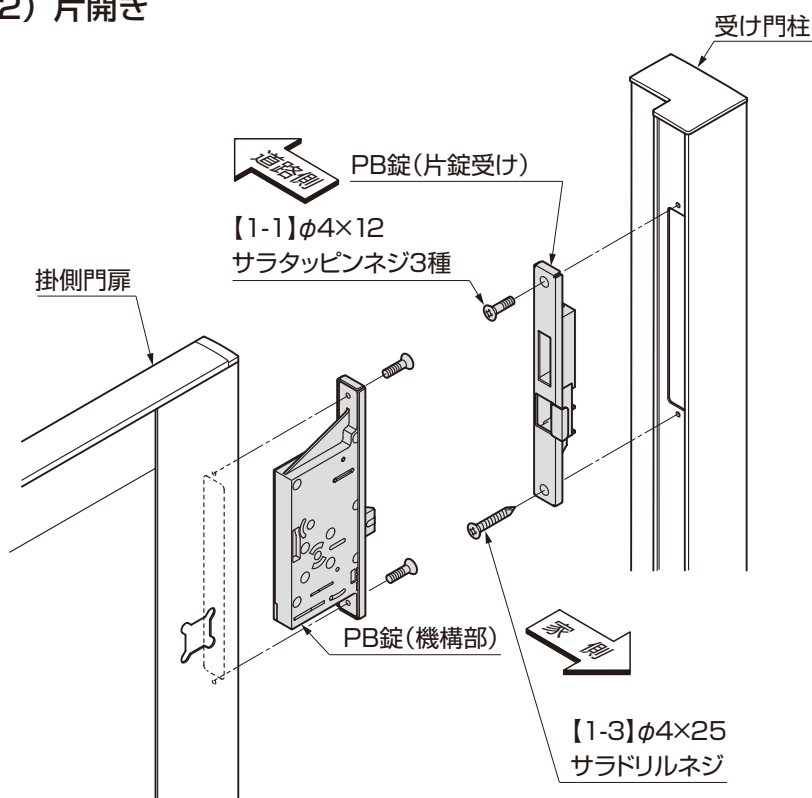


図4-2

ポイント

- 図は右勝手内開きです。扉の勝手が右勝手内開き以外の場合は、「2.勝手の変更」にしたがって錠の勝手を変更してください。
- 取付ネジの頭が片錠受けより出っ張らないように取付けてください。

- ① 図4-2にしたがってPB錠(機構部)と、PB錠(片錠受け)の上側を【1-1】で取付けてください。次にPB錠(片錠受け)の下側を【1-3】で取付けてください。

ポイント

- 組付け推奨トルク： $2.0\text{N}\cdot\text{m}\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($20\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)

4. PB錠の取付け つづき

4-2 ハンドルの取付け ※図は右勝手の場合を示します。

(1) 両開き

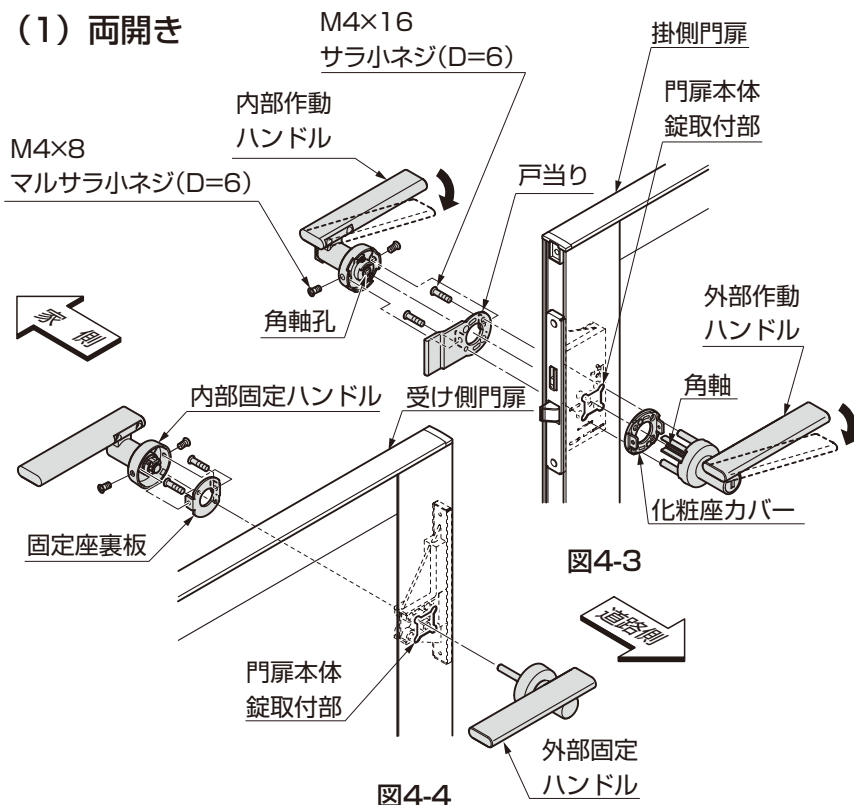


図4-3

図4-4

ポイント

- 図は右勝手内開きです。扉の勝手が右勝手内開き以外の場合は、「2. 勝手の変更」にしたがって錠の勝手を変更してください。

- ① 化粧座カバーを取付け、外部作動ハンドルを平行に取付けてください。(図4-3参照)

ポイント

- 角軸を、角軸孔に確実に差込んで固定してください。

注意

- シリンダーキーを差し込んだまま取付けを行わないでください。シリンダーキーが抜けなくなります。

- ② 戸当りを取付け、内部作動ハンドルを平行に取付けてください。(図4-3参照)
- ③ ハンドルを傾けて、ラッチが引っ込む動作を確認します。(図4-3参照)
- ④ 図4-4にしたがって、受け側門扉に固定ハンドルを取付けてください。

ポイント

- 組付け推奨トルク： $2.0\text{N}\cdot\text{m}\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($20\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)

(2) 片開き

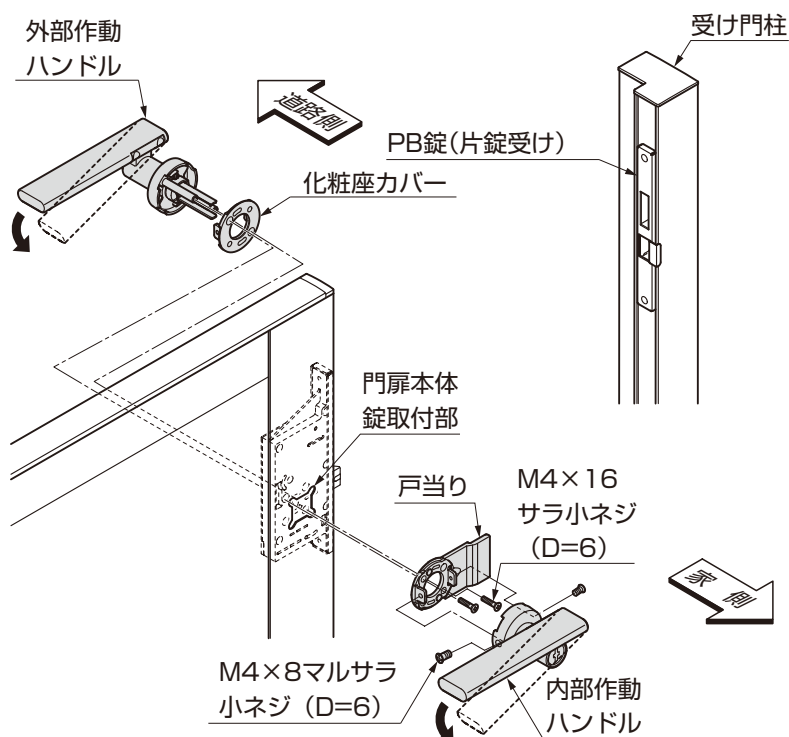


図4-5

ポイント

- 図は右勝手内開きです。扉の勝手が右勝手内開き以外の場合は、「2. 勝手の変更」にしたがって錠の勝手を変更してください。

- ① 化粧座カバーを取付け、外部作動ハンドルを平行に取付けてください。(図4-5参照)

ポイント

- 角軸を、角軸孔に確実に差込んで固定してください。

注意

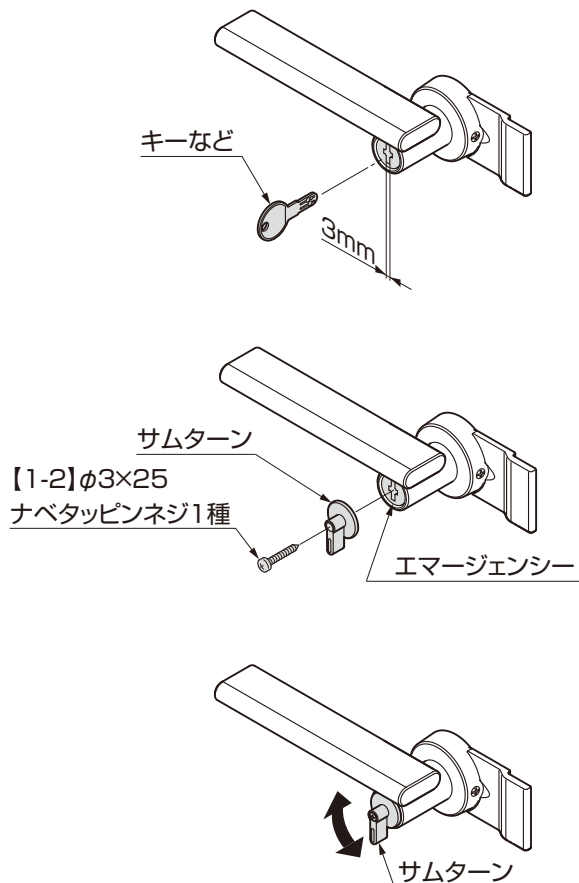
- シリンダーキーを差し込んだまま取付けを行わないでください。シリンダーキーが抜けなくなります。

- ② 戸当りを取付け、内部作動ハンドルを平行に取付けてください。(図4-5参照)
- ③ ハンドルを傾けて、ラッチが引っ込む動作を確認します。(図4-5参照)

ポイント

- 組付け推奨トルク： $2.0\text{N}\cdot\text{m}\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($20\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)

5. エマージェンシー機構の操作確認とサムターンへの変更



①施錠・解錠するには、3mm幅の溝に入るキーの先端やコイン、マイナスドライバーなどを差込んで回転してください。

補足

- エマージェンシー機構は、家側からの施錠・解錠操作が素手ではできないので、外側から手を伸ばして解錠する、等のいたずらを制約することができます。
- エマージェンシー機構は、いたずらのある程度抑止できますが、部外者の解錠操作を完全に防止するものではありません。
- 出荷段階ではサムターンは取付いていません。必要に応じて取付けてください。

②サムターンへ変更する場合は、【1-2】でサムターンを取付けてください。

③サムターンを回して、施錠・解錠の操作を確認してください。

